

科研費【基盤研究(B)】 ブラジル日本人入植地の歴史民俗学的研究

期間：2015年4月1日～2019年3月31日

[所員] 佐野賢治 内田青蔵 小熊 誠 須崎文代 泉水英計

[客員研究員] 森 武麿 [建築研究家] 米田誠士

[鹿児島国際大学] 黒瀬郁二 [文化学園大学] 渡邊裕子

[サンパウロ大学] 森 幸一 [近畿大学工業高等専門学校] 田中和幸

[元興寺文化財研究所] 角南聡一郎 [研究協力者] 加藤里織 李徳雨

[渋沢史料館] 永井美穂 (歴史民俗資料学研究科博士後期課程)

[日系移民研究者] ブルーノ・ヒサツグ

最終年度の活動を終えて

泉水 英計

共同研究「ブラジル日本人入植地の歴史民俗学的研究」は、民俗学の研究視点と調査手法をブラジル日系社会へと適用し、「日本」との関係のあり方を明らかにすることを目的に組まれた共同研究である。とくに具体的な文化表現の記録化に留意し、日本常民文化研究所所員の他に各分野の専門家が関わっている。本年は、4箇年計画の科研費基盤研究の最終年度を迎えた。共同研究のまとめとなる公開研究会が共同研究全体でおこなわれ、個別的には学会発表と補充調査がおこなわれた。

公開研究会は2018年12月15日に神奈川大学にてシンポジウム形式で開催した。このシンポジウムでは、以下の発表があった。

角南聡一郎「墓からみた日系移民のエスニシティ——レジストロ市 サウダーデ墓地の場合」

泉水英計「日系移民の出自としての日本語学校『同窓会』」

永井美穂「ブラジル日系社会の歴史を伝える手段

——イグアッペとレジストロにおける博物館の可能性」

森武麿「ブラジル移民から満洲移民へ——信濃海外協会を対象として」

須崎文代「レジストロにおける戦前期竣工の日系移民住宅について」

田中和幸「現地調査にみる日系移民住宅の架構形状について」

共同研究の最後の研究会となることから、このシンポジウムには、共同研究の主要調査地であるサンパウロ州レジストロ市から調査協力者を招聘した。同市内の日本人入植地について郷土史研究の視点から以下の2本の講演がおこなわれた。

福澤一興「ようこそレジストロ日伯文化協会へ——過去・現在・FUTURO」

ルーベンス清水「日本人植民地のレジストロへの影響」

さらに、このシンポジウムでは、米田誠士氏による「空からレジストロを見てみよう」と題した日系移民住宅のドローン空撮動画の上映もおこなわれた。

このシンポジウムの発表用原稿は出版用に改稿され、『比較民俗研究』第33号(2019比較民俗学



写真1 レジストロからのゲストスピーカー（福澤氏と清水氏／2018年12月）



写真2 展示品を囲んでの議論（2018年12月）



写真3 米田氏製作の日系住宅建築模型（2018年12月）



写真4 実測調査を行ったサンパウロ州レジストロ市の深澤邸（2018年8月）

会）誌上で組まれたブラジル特集に寄稿された。

以上のようなシンポジウムの他に、通常どおりの研究会が4月27日に神奈川大学にて開催され、吉村竜氏から「『日系コロニア』を創造する——ブラジル南東部における日本人移民の営農戦略とエスニシティ——」の発表があった。

また、建築班は6月23日に日本建築学会にて調査報告をおこない、8月中にはうち1名がレジストロにて補足調査をおこなった。

本共同研究への科研費助成期間は本年度をもって終了したが、日本常民文化研究所により最終報告書を出版する準備が進行中である。

■ 2018年度の活動

○公開研究会「『日系コロニア』を創造する——ブラジル南東部における日本人移民の営農戦略とエスニシティ——」吉村竜（首都大学東京大学院）2018年4月27日

○レジストロ六川邸・深澤邸実測調査 2018年8月22日～9月1日 サンパウロ州レジストロ市 田中和幸

○公開研究会「ブラジル日本人入植地の歴史と民俗」2018年12月15日 佐野賢治・福澤一興（レジストロ文化協会）・ルーベンス清水（レジストロ文化協会）・米田誠士・角南聡一郎・泉水英計・永井美穂・森武磨・内田青蔵・須崎文代・田中和幸

※本研究はJSPS 科研費 15H05172 の助成を受けたものです